

• 4: ○八番(佐々木心)

検索語: なし

○八番（佐々木心）自由民主党の佐々木心です。議長のお許しをいただきましたので、一般質問を行います。

今任期四年間の定例会も今回が最後であり、令和最初の定例会で仙台市政、仙台市議会百三十年という大きな節目に、この場に立たせていただいていることに重責を感じると同時に、市民の皆様からいただいたお声を行政にしっかりと届けなければという強い思いであります。その中で、今日まで要望を受けていただき対応していただいた御当局の皆様には感謝を申し上げるとともに、引き続き残された課題に対し改善を求めて、大綱三点について順次質問を行います。

まず初めに、障害者スポーツについてであります。

障害者スポーツは、平成三十年第四回定例会にて障害理解啓発で一つの項目として伺っていますが、今回具体的に伺うのは、仙台国際ハーフマラソン大会車いすの部についてであります。

私の議会提案を受け、今大会からレース映像が、大会後にY o u T u b eでダイジェスト版の作成が実施され、本年七月に完成するということで楽しみにしています。また、大会後には、教育局と学校現場の御理解、御配慮もあり、仙台市立立町小学校四年生四十二名に、車いすの部招待選手による講話及びパラリンピック競技ボッチャの体験を行っていただきました。

その内容は、当日の夕方のニュースで報道され、翌日の地元紙にも大きく取り上げていただきました。子供たちは、選手の話の内容や車椅子の競技で使用するレーサーに触れ、乗ることで、障害者スポーツに理解を示しました。その際に質疑応答の中で、一人の生徒の、階段をおりるのはどのようにしているのですかという何気ないこの質問こそ、非常に意味ある大きな質

問だと感じました。なぜならば、バリアフリーを進める中で、子供たちに浸透した、障害当事者の現状を知りたい気持ちと思い、障害者や高齢者に優しいまちづくりをしなければいけないと強く感じた瞬間でした。そこで、市長が考える、子供たちに広く浸透したバリアフリー促進、ハード面、ソフト面で、仙台市のあり方はどのような御認識か、お伺いいたします。

今大会の第二十九回は、コースが一新し、全国の競技者に参加の呼びかけをお願いして、招待選手で女子選手が参加し、事前にゼッケンの改善を要望させてもらい、選手控え場所である東華中学校では講堂の使用が可能になり、在校生が応援ボードを作成し、選手を迎えていただいたことは、中学生のおもてなしと改善対応していただいた主催者に、心より感謝を申し上げます。そこで二〇〇一年、二〇〇二年大会はオープン競技として開催し、翌年の第十三回大会から正式競技として、今回で十七回を開催している第二十九回大会を振り返り、どのように感じているか、担当局に御所見を伺います。

次に、次回の大会は三十回の大きな節目を迎えます。ハーフマラソン一般の部は、今でこそ大会主催者のたゆまぬ魅力向上策の効果と昨今のラン活ブームに乗り、瞬く間に定員をオーバーするエントリー状況であります。車いすの部もさまざまなハードルを乗り越え、次回は東京パラリンピック開催の年でありますので、機運を盛り上げる取り組みが必要であります。

例えば、参加年齢の引き下げや女子招待選手に、前日開催の感謝の会に、一般財団法人国際美容協会山野流着装教室で進めている車椅子に乗ったまま和装の着つけを行い、着物で参加してもらうことで、美容、福祉、スポーツが一体となり取り組むことで魅力が高まると考えます。財団は、着物の普及と福祉に貢献できるならば協力を惜しまないことも伺っています。さまざまな企画を考えながら、本市としてのおもてなしの魅力を伝え参加者増となるように、現時点から進めなければいけないと感じますが、今後の取り組みについて御所見をお伺いいたし

ます。

企画という視点で、障害企画課は障害ニーズが多様化している中で、職員は対応しています。さまざまな事業に対応するため、障害別に業務委託を行っていることを認識しますが、業務委託している先でも担当課もマンパワー不足であると感じています。担当課では係を増設し、細分化の対応を求め、また本市では障害者雇用率を満たしているものの、当事者をより多く雇用し、さらなる当事者雇用率の向上が必要であります。三十五人以下学級を進め、多くの教員増を進めた市長でありますので、障害対応についても人員増を求めるものであります、市長の御所見をお伺いいたします。

道路、歩道、通学路の安全対策について伺います。

二人のとうとい命が失われる大津園児死傷事故から一カ月が過ぎ、お亡くなりになりました園児に哀悼の意を伝えて、御冥福をお祈り申し上げます。と同時に、残された御家族の思いを考えると、同じ世代の子供を持つ一人としてとても他人事とは思えません。学校やPTA、警察や交通指導隊と地域ボランティアの方々が、常日ごろから見守りしていただいていることに感謝を申し上げます。

十四日の代表質疑でもありましたが、本市でも全国各地で起きている事故を重く受け、市長を初めとした局長会議が行われました。市民局長の御答弁では、関係部署に安全管理の再確認の通知を出したと伺いました。その対応を否定するわけではありませんが、通知を出した後が重要であります。各関係機関について、情報の共有が必要であります。そこでまず、市内の保育園についてはどのようなになっているのかを確認いたします。

園庭がないなどの理由から外で遊ぶために園児たちの散歩を行っていますが、そもそも経営者、保育士は安全な場所を散歩コースとして設定しています。そういった中でこのような事案

が起るわけでありますから、抜本的な見直しは急務であります。そして、逆に捉えると、各保育園は散歩コース以外で危険な場所を情報として持っていると考えます。特に、今は意識の高い状況でありますので、その場所をピックアップして吸い上げ、その上で対策を講じる必要があります。

その中で、取りまとめをして危険度、緊急度をランク分けして、対応、対策を行い、その上で各局が一つのテーブルで協議し、改善のために適正に財源を確保し、順次整備しなければいけないと考えます。今回の大津市の事故現場では、その後、約五百万円でガードレールの設置を行いました。二度とこの場所で事故を起こさせない強い対応ではありますが、事前に整備できなかったかとも感じる思いであります。

そこで、関係機関が連携した安全確保の取り組みで、平成二十六年度設置した仙台市通学路安全推進会議では、平成三十一年三月に体制を見直し、宮城県警では生活安全企画課長と各警察署生活安全課長がふえ、本市では子供未来局が加わり、児童クラブ事業推進室長が参加し、各区でも増員が図られ対応を行うことで、多角的な議論と対応が期待されますが、今月開催について、初めて参加した子供未来局はどのような認識か。大津の事案を受け、本市として情報を収集し、適切に担当局に改善を求めることを願います。また、道路管理者として、総括的に建設局のお考えを伺います。

小学校通学路の安全対策について伺います。

政府広報オンラインから、平成三十一年三月二十八日の警察庁交通局の報告書によると、小学校一年生の歩行中の死傷、重傷者は六年生の約三・六倍であり、平成二十六年から五年間で登下校中の事故は、歩行中の通行目的別で三一・八%に及びます。また、同じく過去五年間では、通学時より下校時が一時間ごとで比較しても多い現状であります。そのことを本市におい

て、この現状を教育局でどのような御認識か、お伺いいたします。

合同点検実施の結果、平成二十六年から指摘された場所の改善を随時対応していますが、未完了箇所が残っていることも本年五月の市民教育委員会でも確認をしましたが、理由については、道路狭隘や建物が密集したりしていて拡張の余地がないと伺いました。このままでは改善に向けて進まない状況であります。道路狭隘や拡張については、時間がかかっても根気強い説明を行い、住民合意と関係機関の了承を得て、狭隘箇所については登下校中は通行どめや、交互通行のところを片側通行にするなど、思い切ったかじ取りで改善の方向性を示さなければなりません。強い覚悟が必要であり、ハードルが高いことも認識しますが、交通弱者、子供たちを守るために必要であると考えますが、担当局の御所見をお伺いいたします。

次に、緊急合同点検で防犯の観点が増えたことは、子供たちにとって喜ばしいことでもあります。残念ながら、先月の常任委員会での資料では、防災の視点が足りません。大阪地震を受け、学校内で二十二カ所の未対応の箇所があったということは、宮城県沖地震に生まれた私にとって信じられない状況でありました。現在、対策中と伺いましたが、今なお未実施になっている箇所とその理由について伺います。

通学路安全対策必要箇所の五年分を調べました。平成二十六年度百十八カ所、平成二十七年百二十三カ所、平成二十八年度百六カ所、平成二十九年度八十七カ所、平成三十年度九十五カ所ありますが、私も太白区を中心であります。現地確認を行いました。平成二十八年第四回定例会でも、通学路対策について伺っています。当時の奥山市長は、未来ある子供たちが安全に安心して通学できるよう、通学路の環境を整えることは行政の大事な役割の一つと御答弁いただいています。郡市長は、就任以降、対策が必要とされる場所の現地確認を行ったかを伺います。そして、どのように感じているのか、御所見をお伺いいたします。

次に、公園周辺の路上駐車対策と渋滞緩和策について伺います。

あすと長町中央公園の路上駐車対策についてであります。

この公園は、週末やことしのゴールデンウィーク十連休には、市内各地から多くの方々が遊びに来ていて、遠方から来られる方は車で来ている状況で、敷地内に駐車場がなく、車で来た方はやむなく公園脇に路上駐車している状況であります。近隣住民から多くの不満の声が届いており、宮城県警にも多くの通報があり、取り締まりを強化していると伺っています。

この問題は、平成二十九年第四回定例会一般質問で伺いましたが、あれから時が過ぎ、現状で全く改善がなされていなく、先週末夕方に現地に行きました。雨まじりの天気だったので、路上駐車はないかと思いましたが、数台の車が路上駐車していました。公園利用以外にもさまざまな理由により、慢性的に路上駐車がある状況だと感じました。あすと長町復興公営住宅の日照問題も大事であります。これまでに都市計画に理解を示した地権者や、この地域に長く住む方、近隣に高い住宅ローンを組んで住んでいるマンションの方から、不満のお声を伺っています。

また、仙台南地区交通安全協会郡山支部の今年度の総会でも、対策を求める意見、近隣小学校関係者からも同様の声があり、そして、かねてから路上駐車の影響で子供たちの交通事故につながるのではと危惧する一人であります。そこで、公園周辺での直近二年間の事故を調べると、路上駐車とは関係ないということでありましたが、出会い頭の事故が四件あるとお聞きしました。路上駐車とは関係ないということですが、事故が起きているのは事実であります。これを重く受けとめ、大きな事故が起きる前に、公園、道路管理者として本市の責任は大であります。

そこで、さきの答弁も含め二点伺います。

一点目は、その後、これまでに御当局は具体的にどのような対応を行ったのか。また、改善に向けて、県警との協議と対応はどのようになっているのかをお伺いいたします。

二点目は、さきの答弁では、周辺の有料駐車場をお使いいただくように呼びかけるとありますが、有料駐車場とはどこのことを示すのでしょうか。また、その対応に得ませんが、議論をしている我々と説明を受けた方はわかるものの、遠方から来た方は何をもって、駐車場がどこにあるのかを確認するのでしょうか。案内板などを設置するのかを伺います。

この項最後に、関連して、都市計画道路の市道長町八木山線の国道四号に向かう右折レーンの慢性渋滞が問題であります。御当局の現状分析は、市城南西部などから八本松地区を經由して国道四号へ向かう交通量が、当時の計画を上回り、交通渋滞が顕著であるとあります。であるならば、都市計画の完成形の整備道路であるということなので、多くの方が向かう国道四号の改善を強く要望し、道路拡張と交差点立体化事業を進めるべきであります。現状の国道四号の整備計画はどのようになっているのか、そして今後の方向性について担当局に御所見を伺います。

以上伺いまして、一般質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

• 5: ○市長(郡和子)

検索語: なし

○市長（郡和子）ただいまの佐々木心議員の御質問にお答えを申し上げます。

今後のバリアフリーのあり方についての御質問でございます。

バリアフリーの推進に当たりましては、ハード面の整備のみならず、市民の皆様方一人一人が、高齢化や心身の障害、周囲の理解不足などにより生活のしづらさを抱えている方々の課題

を自分のこととして捉え、相手の身になって考え、行動していくことが求められています。

今回の車いすの部の招待選手の小学校の訪問というのは、子供たちが理解を深める貴重な機会となりました。子供たちが子供のころからの交流体験の大切さというのと、障害者のスポーツのすばらしさというのを実感できたものと考えております。

今後も市民の相互理解を図る機会をふやすよう努め、心のバリアフリーも進めながら、世代や障害の有無などを超え、多様性を認め合い、誰もが健やかに安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進してまいります。

次に、障害分野における体制についての御質問にお答え申し上げます。

障害福祉分野における行政課題は、ますます複雑化、多様化しておりまして、さらに障害理解の促進や障害者雇用による障害者の社会参加を推進していくことは、共生社会の実現に向けて重要な取り組みであると認識をしております。

このような中、平成三十年度に障害企画課に障害者スポーツ、また文化芸術活動、障害者就労支援の強化などを担当する社会参加係を新設いたしまして、体制の強化を図ったところでございます。

また、本市の障害者雇用につきましても、引き続き雇用率の向上に向けた取り組みを推進いたしますとともに、障害の内容や程度に応じた適切な配慮を行うなど、働きやすい職場環境づくりを行ってまいります。

今後とも、障害者を取り巻く環境を見きわめつつ、組織のあり方や体制の強化など検討しながら、誰もが尊重されて生きがいを持って暮らすことができる、そんな施策を進めてまいります。

次に、対策が必要とされる通学路についてでございます。

私自身、対策の必要な箇所について直接確認はしていませんが、先般の安全安心街づくり推進本部会議等を通じまして、関係局から報告を受けて、道路整備等のハード面とともに見守り活動の強化などソフト面の取り組みについても、速やかに必要な対策をとるよう指示したところでございます。

大津市の事故、そして川崎市のあの事件など、子供たちが巻き込まれる痛ましい事案が相次ぎ、子供たちや保護者の不安を解消するためにも、これまでも増して通学路の安全対策が求められていると、このように思います。

引き続き地域の声を伺うとともに、道路管理者、警察など関係機関との連携をより一層深めて、全市を挙げて子供たちの安全・安心の確保に力を注いでまいりたいと考えております。

そのほかの御質問につきましては、関係の局長から御答弁を申し上げます。

私からは以上でございます。

● 6: ○健康福祉局長(船山明夫)

検索語: なし

○健康福祉局長(船山明夫) 私からは、今年度及び来年度の仙台国際ハーフマラソン大会車いすの部についての御質問にお答えをいたします。

仙台国際ハーフマラソン大会車いすの部につきましては、二〇〇三年に仙台ハーフの正式競技として開催されて以来、回数を重ねながら競技運営の改善や大会の認知向上に努めてまいりました。

今年度の第二十九回大会では、好天にも恵まれまして沿道の声援も多く、選手の方々の励みになるとともに、中学校の生徒から選手向けに温かい応援のメッセージが贈られ、心の通い合う大会だったと感じております。

次年度は第三十回という節目の大会にふさわしい大会となりますよう、参加者のホスピタリティの充実に努め、御提案いただいた内容も含めまして、魅力的な大会としたいと考えております。あわせて広報啓発にも工夫を重ねながら、参加者増につなげてまいりたいと思っております。

以上でございます。

• 7: ○子供未来局長(岡崎宇紹)

検索語: なし

○子供未来局長(岡崎宇紹) 私からは、子供未来局に係る御質問にお答えいたします。

まず、大津市の園児死傷事故を受けての市内保育施設に関する対応についてでございます。

五月八日の大津市の事故及び同月十五日に千葉県市原市で公園に突入した車により園外保育中の保育士が負傷した事故を受け、市内五百三十六の保育施設に対し、繰り返し園外保育における安全管理の再確認を求める通知を発出したところでございます。

その後の対応状況を照会しましたところ、回答のあった施設の九割以上において園外保育マニュアル等の再確認と、散歩コースの具体の危険箇所の確認を実施するとともに、必要に応じてコースや時間帯の変更等の安全対策を講じたなどの報告を受けております。

散歩コースに関することはもとより、各保育施設において把握している施設周辺の危険箇所についても、相談や情報提供が寄せられた場合には、必要な助言や関係部署への情報提供等を適切に行ってまいりたいと考えております。

次に、仙台市通学路安全推進会議での子供未来局の対応等に関する御質問にお答えします。

児童館、児童クラブの行き帰りには、通学路同様の安全確保が求められるとの認識のもと、これまで各館への安全対策の要請に努めてまいりました。

そうした中、今般の体制見直しにより、通学路安全推進会議に子供未来局が参加することは、子供の安全確保に向けた私どもの取り組みに対する大きな後押しと受けとめております。

今後、この安全推進会議を軸に、合同点検を初め、連携した取り組みが予定されております。こうした枠組みも積極的に活用しながら、地域ごとのリスクの把握とその改善に向けて、教育委員会、警察、道路管理者など関係機関と連携を図ることによりまして、子供たちの安全を確保し、痛ましい事故の未然防止につながるよう取り組みを推進してまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

• 8: ○建設局長(小高睦)

検索語: なし

○建設局長(小高睦) 私からは、建設局に係る二点のお尋ねにお答えをいたします。

初めに、通学路などの安全対策に関する建設局の対応についてでございます。

これまで通学路につきましては、関係部局、機関が連携して行う合同点検において課題が指摘された箇所を対象に、歩道の拡幅や路側帯のカラー化などの安全対策を行ってまいりました。

また、平成二十二年の太白区根岸交差点での交通事故を受けまして、自動車交通量の多い交差点を対象に調査、点検を行い、課題のあった五十二カ所について防護柵や車どめなどの交通安全施設を設置してきたところでございます。

今後も引き続き、仙台市通学路安全推進会議などを通し、関係部局、機関と十分な情報共有、連携を図りながら、課題箇所への安全対策を着実にを行うことで、園児や児童を含めた市民の安全・安心を確保してまいりたいと存じます。

次に、国道四号の計画と今後の方向性についてでございます。

国道四号につきましては、交通渋滞の緩和などを目的に、若林区の卸町交差点から宮城野区の鶴ヶ谷交差点までの延長約六キロメートルについて、現在、国が六車線化への拡幅及び箱堤交差点の立体化を進めているところでございます。

御指摘の市道長町八木山線を含め、当該地域の渋滞解消には、国道四号の機能強化が不可欠と認識してございまして、これまでも国に対して要望をしてきたところでございますが、今後とも早期の事業化について強く求めてまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

• 9: ○太白区長(佐藤伸治)

検索語: なし

○太白区長（佐藤伸治）あすと長町中央公園周辺の路上駐車対策に関しまして、初めにこれまでの対策等につきまして御答弁を申し上げます。

この問題に関しましては、この間、仙台南警察署に協議、相談を申し上げ、同署においては、路上駐車監視員の巡回、休日や天気がよい日のパトロール強化、駐車禁止の規制標識の増設などの対策が講じられてきたところでございます。

こうした取り組みにより、一定の効果が出てきているものと受けとめておりますが、当区といたしましても、路上駐車禁止を公園利用者に呼びかける掲示板を新たに設置する等の対応を行ってまいりたいと、このように考えております。

次に、有料駐車場の案内看板等の設置についてでございます。

この公園は、地域の皆様の身近な公園として整備を行ったものでありますことから、専用の駐車場を有しておらず、車でおいでの場合には、例えばJ R長町駅周辺の時間貸し有料駐車場

などを御利用いただく必要がございます。

ただ、私どもとしては、こうした個別の駐車場を案内をするというのはなかなか難しゅうございますので、まずは、車でおいでの場合には周辺の有料駐車場を御利用いただきたい、この旨を公園内に掲示いたしますとともに、当公園には利用者専用の駐車場がない、このことにつきまして広く周知を図ってまいりたいと考えております。

引き続き、仙台南警察署との連携のもとに、路上駐車防止を図りながら、公園周辺の交通安全の確保に努めてまいり所存でございます。

以上でございます。

• 10: ○教育長(佐々木洋)

検索語: なし

○教育長(佐々木洋) 私からは、通学路の安全等のうち、市長が答弁した以外についてお答えいたします。

初めに、児童の歩行中の交通事故発生状況の認識についてでございます。

全国的な統計では、児童の重大な交通事故の約半数を小学一、二年生が占めており、また、事故原因については、飛び出しや横断違反が半数以上を占めている状況でございます。

こうしたことから、特に低学年を中心に交通ルールを守るという安全教育を繰り返し行うことが重要であると認識しております。

次に、通学路の安全対策についてでございます。

平成二十六年度からの合同点検により対策が完了していない箇所については、関係機関との協議や工事に時間を要する箇所もございますので、改善に向けて粘り強く取り組んでまいります。

また、ハード面に限らず、地域の見守り活動など、並行してソフト面での取り組みも大切ですので、教育委員会としては引き続き合同点検の機会等を活用し、関係機関と連携し、子供たちの安全確保に努めてまいりたいと存じます。

次に、学校敷地内のブロック塀の対応状況についてお答えいたします。

昨年のおお阪北部地震を受けて行った全校調査において、二十二校で建築基準法不適合や、劣化老朽化が進んだブロック塀等が見つっております。

そのうち十五校については、昨年度のうちに撤去が終了しておりますが、残り七校については、隣接地関係者との協議や、改修設計に時間を要しているところでございます。

これら改修未施工のブロック塀等については、近づかないよう表示等により注意喚起するとともに、必要に応じて防護ネット等で応急対策を行っており、引き続き児童生徒や付近にお住まいの方などの安全・安心のため、早急に対応を進めてまいります。

以上でございます。

• 11: ○八番(佐々木心)

検索語: なし

○八番(佐々木心) 御答弁をいただきましてありがとうございます。何点か確認をしたいところがあるところが正直なところでございますが、ここでは一点再質問をさせていただきたいと思います。

通学路、また道路の安全対策についてであります。

市長から御答弁をいただきましたが、思いとか決意は伝わりました。残念だったのが、平成二十六年から今なお終わっていない場所があるわけでございます。そこに市長就任以降、一度も足を踏み入れていない、現地を見ていないというのは、正直がっかりいたしました。

現場の改善に向けてのヒント、答えは、現場にしかありません。ぜひに現場に行ってください、速やかな対応を求めるものでありますので、もう一度ぜひ御答弁をいただきたいと思
います。

• 12: ○市長(郡和子)

検索語: なし

○市長(郡和子) お答えを申し上げます。

通学路の安全を図るというのは、もとより重要なことだというふうに承知をしております。
私自身、対策の必要な箇所について、直接赴いて確認をしておらなかったところでございます
けれども、今議員から御指摘がございました。時間を見て確認をしてみたいと、このよう
に思います。